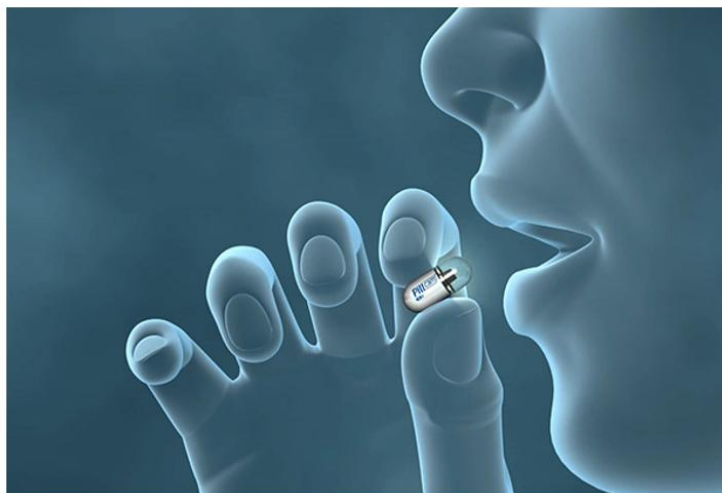
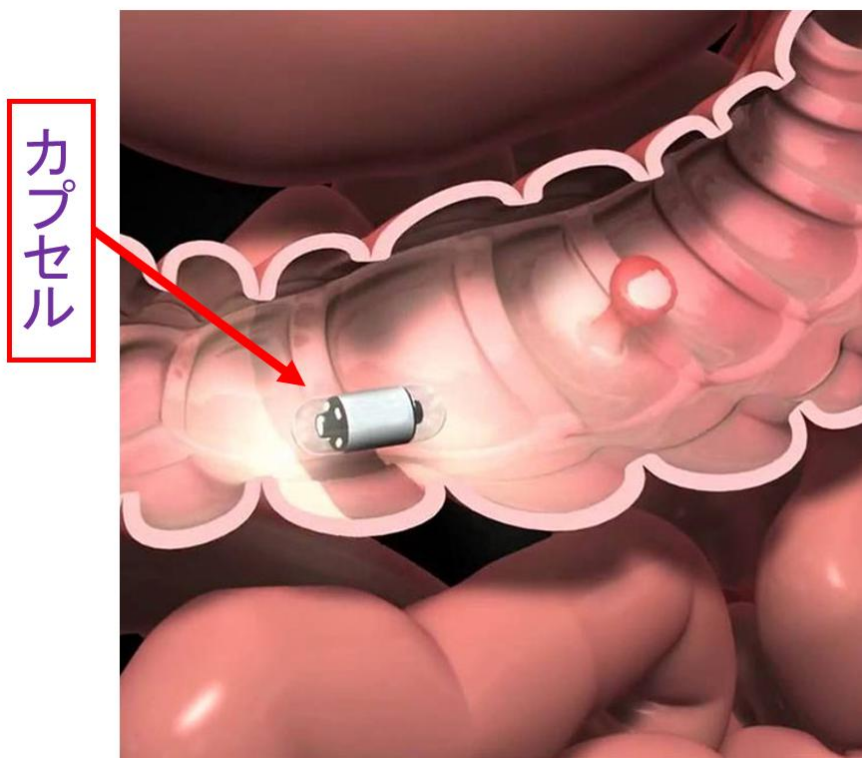
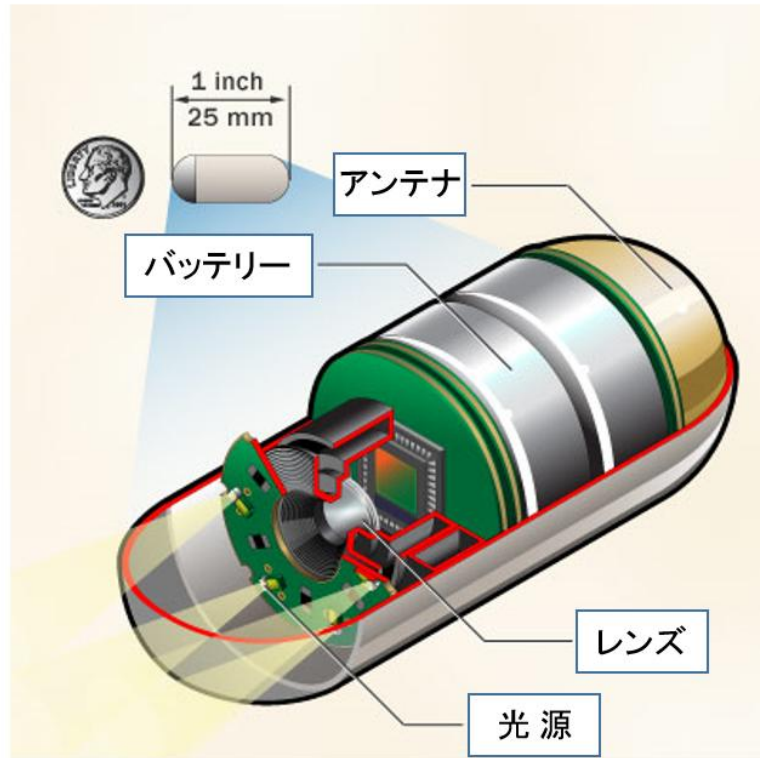


カプセル内視鏡について

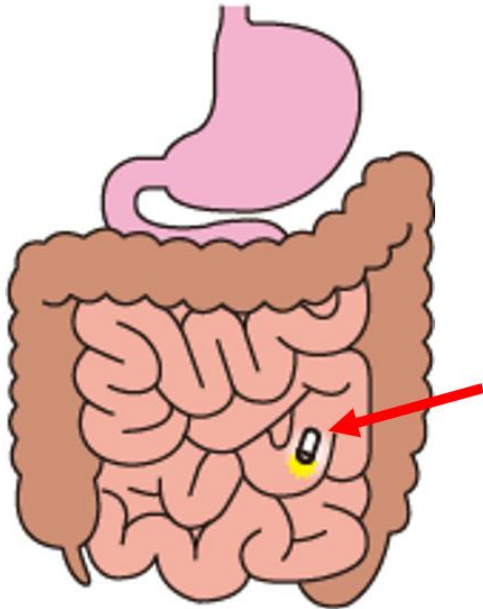


カプセル内視鏡とは超小型カメラを内蔵したカプセルをビタミン剤のように口から飲み込むだけの内視鏡検査です。





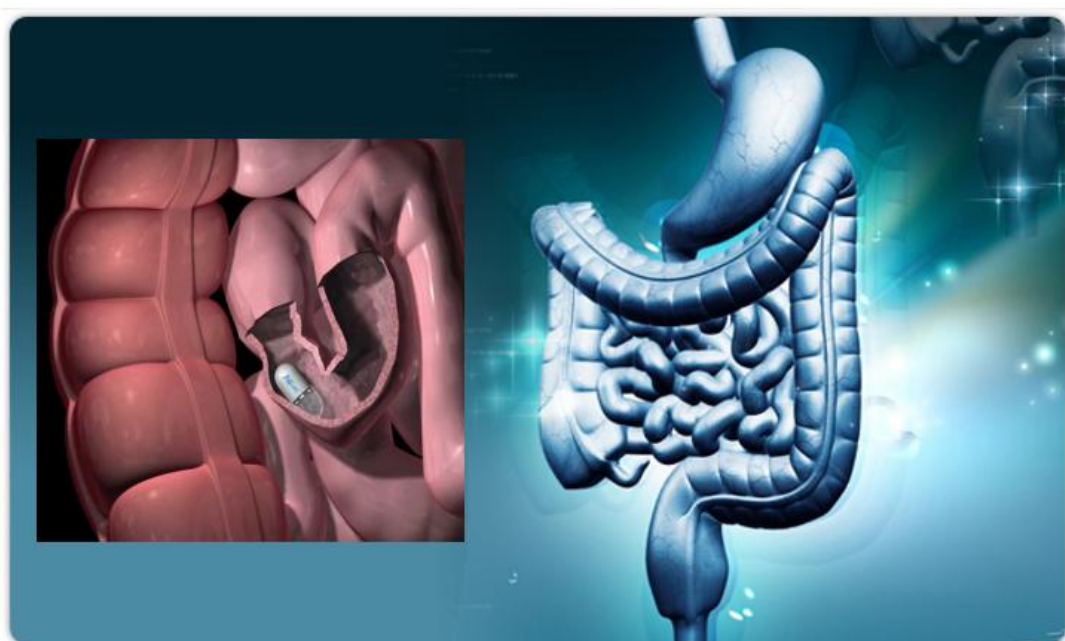
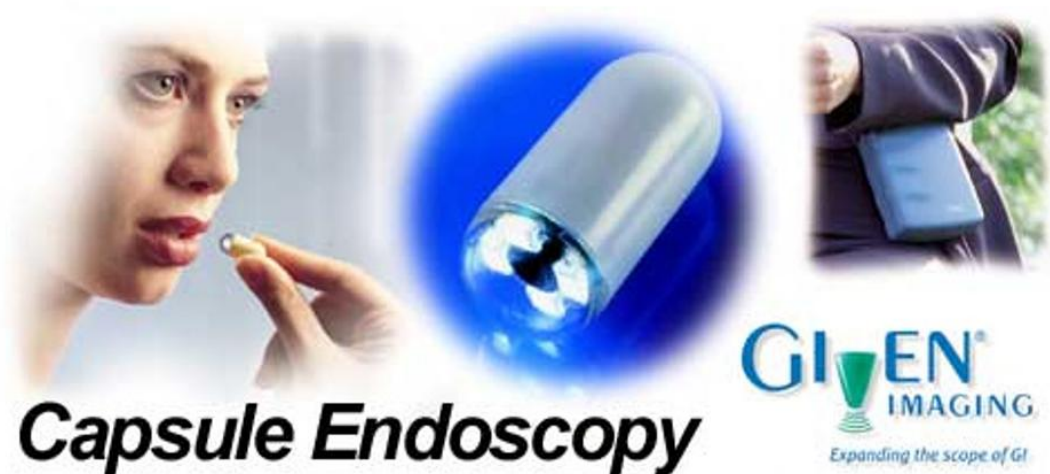
カプセルは、消化管を通過しながら画像を撮影し、記録装置に転送します。



* カプセルが体内から排出されないなどのリスクを伴う検査ですので、十分に説明を聞いた上で行う必要があります。



* 当クリニックでは大学病院と連携し、
検査が必要な方にご案内しております
ので、お気軽にご相談ください。



● 小腸カプセル内視鏡



カプセル内視鏡を飲むことで、小腸疾患の診断を簡単に苦痛なく行えます。特に原因不明の消化管出血やクローン病、小腸腫瘍の診断に威力を発揮します。

● 大腸カプセル内視鏡



大腸内視鏡検査が施行困難であった方などが保険適用となりますが、自費で検査を受けることもできます。

大腸内視鏡検査と同様に、事前に下剤を飲んで大腸をきれいにする必要があります。さらに、カプセル内視鏡の排出を促すために、追加の下剤を飲む必要があります。

検査時間は、3時間から10時間（平均5～6時間）を要し、検査中は病院内で過ごしていただく必要があります。

ポリープの有無は調べられますが、切除はできません。また、生検もできません。

腸に狭窄（きょうさく）がある場合には、検査を受けることができません。